

## TWC ニュース (17号)

### “JICA 見学と農林団地サクラを満喫”

#### 春爛漫の桜ウォーク開催

2014.04.08

筑波大学ウエルネスクラブ恒例の春爛漫の桜ウォークが、理想的な天候の下、久しぶりに開催することができた。桜ウォークの開催は、桜の開花の予測が難しく、近年は特に開花時期が早まっているために、企画のほうが進まない状況が続いた。

今回の企画は、つくば市稲岡にオープンしたイオンショッピングモール駐車場集合、JICA 筑波国際センター見学、さらに農林団地の桜観賞ウォークという内容。

定刻の 10 時には、全員集合し、今回は篠原さんの筋トレ準備運動で全身を調べ、10:15 予定通りウォーキングを開始、春の日差しをいっぱい受け、雑談に花を咲かせながら歩くこと約 30 分、高野台公園を經由して 10:50 JICA 筑波国際センター研修棟に到着。



センターロビーで担当職員の可憐な渡久地弥生とぐちやよいさんの出迎えを受け、直ちにロビーにあるいくつかの写真の説明を受ける。3m もある稲（浮き稲）の標本やネリカというお米の説明があり、一同、新鮮で物珍しい場所に来たという印象を覚えた。続いて、

今はまったく見ることはない、昔懐かしい、各種各様の農器具の展示、発展途上国の農業事情を紹介する写真などを見て回り、参加者の脳裏には、若き頃の日本の農家の様子などが思い出されたようだ。

この時期、途上国からの研修生は教室で講義を受けているため、研修棟には人影は少なく、1 グループのみ溶液栽培の実習を行っていた。

JICA 本部棟の前で記念撮影、そのあと 2 階展示室で民族衣装をまとっての写真撮影、最後にレクチャールームでの総括説明があり、見学の部は終了した。

お昼は、JICA 食堂で各自食事を注文し、エスニック料理をいただいた人もいた。渡久地さんには、料理の注文の仕方、ライスがついているかいらないかなど、親切に教えていただき、ありがたかった。

「こんなところにこんな面白いところがあったのか。また、来て見たい。」と参加者。

13:00 JICA を後にして、一路農林団地へ。



気がかりだった桜は、盛りを過ぎたとはいえ見事な景観を我々の目の前にプレゼントしてくれた。リサーチギャラリーも魅力いっぱい、また休憩拠点としてもありがたい存在であった。(文責 矢部)